

平成25年度における取組の結果と今後の対応

25年度の結果

- ◆ 一次売差マイナスと割戻し・アローアンスの拡大傾向の改善
 - 割戻し・アローアンスについては、仕切価への反映に努めるとともに、縮小を図った。
 - 適正な仕切価の設定及び個々の医薬品の価値に見合った価格交渉による単品単価取引を進め、一次売差マイナスの縮小を図った。
- ◆ 長期にわたる未妥結・仮納入の改善
 - 平成25年9月取引分の妥結率は低調であったが、平成26年3月取引分については概ね妥結した。
- ◆ 単品単価取引の推進
 - 単品単価取引は、理解度・浸透度が大きく進み順調に増加した。

今後の対応

- ◆ 一次売差マイナスと割戻し・アローアンスの拡大傾向の改善
 - 割戻し・アローアンス等の考え方に対する共通認識を形成するなど、一次売差マイナス、割戻し・アローアンスの拡大傾向の改善に向けた議論の継続
 - 個別品目の適正な仕切価水準については、取引当事者による市場環境の変化を踏まえた市場データ等を卸側から提示し、個別に協議を実施

- ◆ 長期にわたる未妥結・仮納入の改善
 - 早期妥結に向け、速やかな価格提示・価格交渉の実施

- ◆ 単品単価取引の推進
 - 更なる単品単価取引の推進に向けた取組の検討